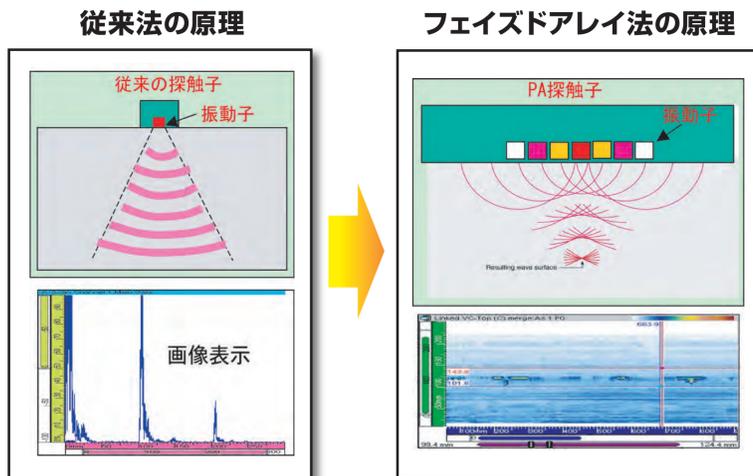


# フェイズドアレイUT法による 鋼構造物の検査

## 概要

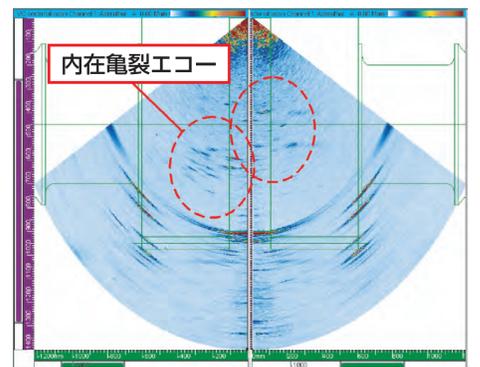
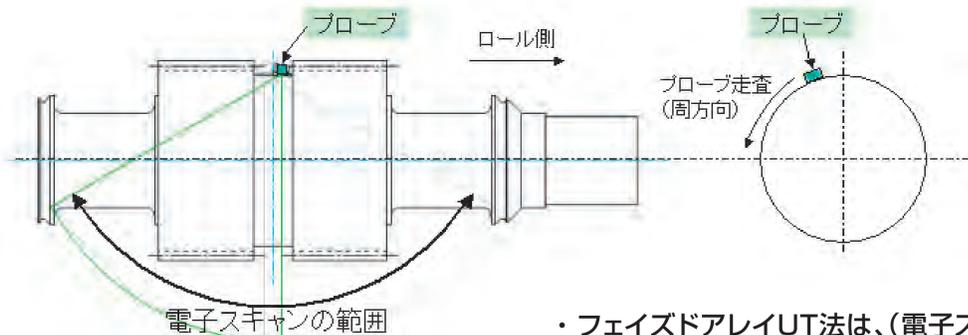
同時励振グループのアレイ探触子にナノ秒単位的时间差をつけてドライブさせることにより、所定の送受信角度と焦点距離を持った超音波ビームが発生する



## 特長

- 指向性が上がり、遠距離での亀裂検査が可能
- 探傷方向を自由に変更、同一欠陥を多数の位置から検出でき、亀裂検知能力が高い
- 画像処理により視認性良好

## 検査事例(ピニオンスタンド検査)



- ・フェイズドアレイUT法は、(電子スキャン方向に関しては)プローブを動かさずに、広い範囲を検査可能。
- ・検査事例では、プローブの周方向走査のみで、ギヤ内部の殆どの領域の検査を実施。

## 検査適用例(軸検査)



軸端面にプローブをセットするだけで軸内部の疲労割れの**有無**とその**位置**(長手方向位置、角度方向位置)を調べる事が出来ます。

軸端面のみの開放で検査可能

C-Scope: 軸長方向透過画像

